

様式 新旧対照表

様式 番号	新	旧										
様式 7	入力する対象年度の記載  <table border="1" data-bbox="277 698 890 797"> <tr> <td>2021年 度入試</td> <td>2022年 度入試</td> <td>2023年 度入試</td> <td>2024年 度入試</td> <td>2025年 度入試</td> </tr> </table>	2021年 度入試	2022年 度入試	2023年 度入試	2024年 度入試	2025年 度入試	<table border="1" data-bbox="922 698 1487 797"> <tr> <td>2020 年度</td> <td>2021 年度</td> <td>2022 年度</td> <td>2023 年度</td> <td>2024 年度</td> </tr> </table>	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
2021年 度入試	2022年 度入試	2023年 度入試	2024年 度入試	2025年 度入試								
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度								
様式 8	基準 2 教員 II-1) 学科・専攻の長 ◆判定基準における評価内容 ① <u>学士の学位を有し、かつ必要な教育・研修* 修了者である、またはそれに準ずる学識者 / 教育経験者である</u> ② 修士の学位を有する、もしくは 10 年以上の 教育経験と必要な教育・研修*修了者である ③ <u>博士の学位を有し、かつ 10 年以上の教育経 験と必要な教育・研修*修了者である</u>  基準 2 教員 II-2) 教員要件  ◆判定基準における評価内容 ① <u>専任教員は指定規則で定める専任教員の基 準およびガイドラインに定める事項を遵守 するとともに、理学療法士、作業療法士、言 語聴覚士の専任教員は全員が各職能団体の 協会員であることを養成課程として求めて いる</u>	基準 2 教員 II-1) 学科・専攻の長 ◆判定基準における評価内容 ① <u>学士の学位を有する者、またはそれに準 ずる必要な教育・研修*修了者である</u> ② 修士の学位を有する、もしくは、10 年以 上の教育経験かつ必要な教育・研修*修 了者である ③ <u>教育・管理に関する修士の学位もしくは 博士の学位を有し、かつ 10 年以上の教 育経験と必要な教育・研修*修了者であ る</u>  基準 2 教員 II-2) 教員要件  ◆判定基準における評価内容 ① <u>専任教員は全員が日本理学療法士協会・ 日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協 会の協会員であり、指定規則で定める専 任教員の基準およびガイドラインに定め る事項を遵守している</u> ② <u>専任教員は全員が日本理学療法士協会・</u>										

	<p>② <u>理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専任教員は全員が各職能団体の協会員であり、その半数は必要な教育・研修*の修了者である</u></p> <p>③ <u>理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専任教員は全員が各職能団体の協会員であり、かつ全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修*の修了者である</u></p>	<p><u>日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会の協会員であり、その半数は必要な教育・研修*の修了者である</u></p> <p>③ <u>専任教員は全員が日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会の協会員であり、かつ全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修*の修了者である</u></p>
--	--	--